



～あんず通信では感染症の流行状況を毎月お知らせしています～

9月：長月（ながつき）

9月23日は秋分の日です。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、本当に涼しくなるのでしょうか！？と疑いたくなるような暑さです。

【感染症だより】

～新型コロナウイルスについて～

すでに令和5年5月から感染症の五類に分類され、若年者にとってはほぼ風邪と同様の感染症となっています。現在流行している新型コロナウイルスは、オミクロン NB.1.8.1 株という型です。現在世界各地に流行していますが、以前流行していた株よりも伝播力が高いと言われています。伝播力が高いと言われると、心配になってしまう方がいらっしゃるかもしれませんが、実はウイルス学的には逆です。伝播力が高いということは、弱毒であることが多いのです。我々の獲得免疫を逃れるようにどんどん変異していくウイルスですので、人間に備わった基本的な免疫力を鍛えて乗り越えていきましょう。規則正しい睡眠を取り、バランスの良い食事、体を冷やさないなど注意をしましょう。免疫力の低下した方、病弱の高齢者は注意が必要です。

表：8月しみず小児科・内科クリニック
で診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	溶連菌	95
2	胃腸炎(デノ2含む)	76
3	手足口病(6)・ヘルパンギーナ(26)	32
4	新型コロナウイルス	11
5	RSウイルス	10
6	リンゴ病(伝染性紅斑)	7
7	水ぼうそう(水痘)	6
	突発性発疹	6
9	とびひ(伝染性膿痂疹)	2
9	咽頭デング熱(プール熱)	2
11	ヒトメタニューモウイルス	1

検査は実施していないですが、百日咳やマイコプラズマとみられる患者さんも数名受診されております。

～感染性胃腸炎について～

秋から冬によく流行する胃腸炎ですが、夏のこの時期も所々で流行しています。特に3歳未満の乳幼児では、一度下痢になると長期化しがちです。胃腸炎の症状は、嘔吐、下痢、食欲低下などです。体重が10kg以上で体力のある子どもでは、嘔吐や下痢があっても脱水症状は軽く済みます。しかし、10kgに満たない乳幼児や、嘔吐や下痢が頻回で量が多いとき、水分摂取が進まない子どもでは脱水症を起こすかもしれません。次のようなときは脱水が強く、点滴治療が必要かもしれません。

- グッタリして元気が無い
- 顔色が悪く、ウトウト、ボーっとしている
- 口の中や舌や唇が乾いている
- 泣いても涙が出ない
- 嘔吐で緑色の吐物が出た
- 尿量が少なく濃い（乳児では尿量は参考になりません。腎臓の濃縮力が未熟なため脱水でも尿が出てしまいます）

以上のような症状がみられるときは、病院を受診しましょう。また、脱水症にならないよう、経口補水液などの水分をこまめに与えましょう。

【1日水分摂取量の目安】

子どもの体重	1日体重当たりの水分量
10kg未満	60～120ml/kg（8kgなら480～960ml）
10kg以上	120～140ml/kg（15kgなら1800～2100ml）

- ★下痢・嘔吐の程度によって経口補水液などを与えます
- ★吐いているときは無理に与えず、1時間ほどお腹を休めてから飲水を再開しましょう

～病児保育室あんず求人のお知らせ～

午前パートの保育士さんを探しています。詳細はホームページまたは求人サイトをご覧ください。お陰様で、常勤の保育士さんが9月から来てくれました！これからはもっと予約をお受け出来ると思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

あんず通信バックナンバーはクリニック
ホームページからご覧になれます



～あんずからのお願い～

★空き状況はWebで

ホームページから確認出来ます。ご予約は前日または当日必ずお電話で（042-513-4158）お願い致します。

📍 空き状況はこちらから



★キャンセルをされる場合

留守番電話でも構いませんので当日 8:30 までに必ずご連絡をお願い致します。利用ご希望の方が1人でも多く入れるようご協力をお願い致します。

★ご予約の際の注意事項

診察を受けた病名によって、お部屋割りをしています。なるべく同じ病気（感染症）のお子様が同じお部屋にすることで、子ども同士の伝染を防ぎます。また、感染症の接触歴、流行状況等をお聞きしております。ご協力をお願い致します。

★保険資格確認について

入室後必要に応じて医師が診察をします。健康保険証又は資格確認書をお持ちください。どちらもお持ちでない場合、マイナ保険証の方はスマホでマイナポータルのページを確認させていただきます。

